

# 科学とは何か？

## ～科学の成り立ち、社会との関わりから科学を考える～

日時： 2013 年 12 月 5 日 (木) 14:00 - 16:10

会場： 早稲田大学早稲田キャンパス 14 号館 6 階 604 教室

対象： 学生・教職員・一般

参加費：無料 ※事前申し込み不要。直接会場にお越しください

### 400年前まで世界に「科学者」という言葉はなかった

日本において自然科学は、目に見えて社会に役に立つもの、物質として還元できるもの、  
というように実学として捉えられ、技術と一緒に扱われることが多い。

しかし、それは開国後に欧米に追いつくために、産業・軍事の分野から力を入れていったと言う日本の歴史が影響している。

では、地球の自然現象における人類共通の疑問・真理に対して知的探求心で挑む、本来の科学の意義とは何なのか。

知の価値が重んじられ、知的探求活動が尊ばれる土壌を持つ社会は真の意味で豊かと言えるだろう。  
そのためにも、自然科学者は社会・人文学の分野と協力して科学そのものを考え、議論していかなければならない。

本セミナーでは、科学史と科学コミュニケーションをテーマに研究されている2名の講師をお招きし、  
科学そのものの成り立ちや、科学と社会や文化との関わり、理学と工学における思想の違い、純粋な科学の意義、  
という点から「科学と何か？」を考えていく。

### PROGRAM

14:00-14:05 趣旨説明

川田 宏之(早稲田大学高等研究所副所長, 理工学術院教授)

14:05-15:05 講演①「理学部と工学部の歴史的起源 ～初期近代における「混合数学」(mixed mathematics)を例に～」

隠岐 さや香(広島大学大学院 総合科学研究科・准教授)

15:05-16:05 講演②「巨大科学はどこまで可能か」

横山 広美(東京大学大学院 理学系研究科・准教授)

司会・コーディネーター：田邊優貴子(早稲田大学 高等研究所・助教)

### PROFILE

#### 隠岐 さや香



1975 年東京生まれ。広島大学大学院総合科学研究科・准教授。科学技術史家。博士（学術）。  
東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学後、フランスの社会科学高等研究院（EHESS）留学。  
日本学術振興会特別研究員 PD、東京大学特任研究員、玉川大学 GCOE 研究員を経て、現職。

科学が社会の中でどのような位置づけを与えられてきたか、という問題関心から  
「科学者」という職業がいかに構想され、制度的な位置を与えられてきたかを研究している。  
著書に「科学アカデミーと「有用な科学」」（名古屋大学出版）。  
2011 年サントリー学芸賞、2013 年日本学術振興会賞受賞。

#### 横山 広美



1975 年東京生まれ。東京大学大学院理学系研究科・准教授。博士（理学）。

専門は科学論・科学コミュニケーション。

東京理科大学大学院理工学研究科物理学専攻満期終了後、東京工業大学研究員、総合研究大学院大学  
上級研究員を経て、現職。

基礎科学と社会のよりよい関係を構築すべく、人類の世界観を変えるという大きな価値がある基礎科学を  
どのように社会と共有していくのか、多角的に研究している。  
日本学術会議若手アカデミー委員会委員を務め、2007 年科学ジャーナリスト賞受賞。

主催：



お問い合わせ

後援： 早稲田大学 男女共同参画推進室



早稲田大学高等研究所 〒169-8050 新宿区西早稲田1-6-1

田邊優貴子

E-mail: ukko@aoni.waseda.jp